

2012(H24).06.02-1

県総体のAブロック準決勝は38-7で勝田工高に勝利

平成24年度県総体(兼)国体予選のAブロック準決勝が6月2日(土)ト伝の郷運動公園で行われ、前半19-0、後半19-7(手元のメモでは21-7)、計38-7(同40-7)で勝田工高に勝利し、決勝戦に進出しました。(この大会は、関東大会出場の上位4校を除き、A~Cの3ブロックに分かれて、全後半25分ずつのランニングタイム(インジュリータイムなし)で実施されます。)



数日前の天気予報では「雨」と心配されましたが、当日は快晴に恵まれ、気温も18℃前後と絶好のコンディションに恵まれる中、午前10時30分過ぎにキックオフ

風上の前半、開始早々のロングキックが相手FBの頭を越え、デッドゴールラインを超えて(タッチインゴールを割って?)しまい、蹴った位置からのスクラムとなるなど、意図した戦術が功を奏さず10分過ぎまでは一進一退の展開。自陣で戦う時間が長く、嫌な雰囲気は漂いました。

しかし12分、蹴り合いから相手FB(WTB?)がミスキック、それを拾った13番北村が先制トライ。ゴールキックはポストを直撃して入りませんでした、5-0と先制。

21分には自陣ゴール前のラックをターンオーバー、右に展開し14番今川がインゴールまで走りきってトライ。12-0とリードを広げます。

このままハーフタイムかと思われましたが、27分敵陣での相手ボールのノックンを拾って右に展開し2番小室が縦を突き、またも14番今川がトライ、ゴールも成功して19-0で前半を折り返します。

前半は、ターンオーバーこそ少ないものの随所にナイスタックルが見られ、相手のノックンを誘っていました。後半に向けては、スクラム・ラインアウトの安定と、ゲームの更なるテンポアップが求められるところです。

後半に入っても、なかなか相手を圧倒できず一進一退の展開が続きますが、ワンチャンスを生かして、2分と18分に今川が連続トライし、33-0と、まずはセーフティリード。

23分には自陣ゴール前のスクラムを上手くコントロールされ、相手No.8にトライを許しますが、終了間際の25分にはまたもナイスタックルで相手のノックンを誘い、連続攻撃から12番小室がトライし、試合を締めくくりました。



全体から受ける印象としては、点差の割には圧倒感が少なく、ワンチャンスを生かした個人技によるトライが目立ち、継続プレイからのトライは後半最後のトライのみでした。しかし、低く強烈なタックルや相手のモール攻撃への対処には格段の進歩が見られました。後半からは負傷欠場が続いていたNo.8 後藤も復帰し、駒が揃ってきました。

次の試合は6月16日(土)12:30～ 水戸市ツインフィールドで、相手は水城高校を24-12で破った東洋大牛久高校です。かつての切れ味こそないものの、同じタイプの展開ラグビーのチームで、過去の対戦では点の取り合いになる傾向がありました。

これからの2週間でプレイの精度を更に高め、地域と時間のマネジメントをもう一度意識し直して、引き締まったゲームを期待したいと思います。

